

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2015年3月24日 謁見収録 No.01

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

真田 孔明：

まだ、70兆とかやっちゃうんですかね？

北野会長：

そんな細かい金じゃない。もっとドンと・・・

真田 孔明：

もっと（笑）。そんな細かい金じゃないんですか？量的・質的金融緩和ですか。年間70兆円とか、80兆円ですけれども・・・

北野会長：

今は70兆円、80兆円やったやろ。今度やるならやはり200兆円ほどやってさ、バ〜ンと株も4万円・・・株の吹上見たいのを想像しておるわけ・・・そうしたら銀行は下がるけど取り分としたら倍以上の取り分になるから、ほっといても・・・それを言いたいわけよ、単にな、そうやる？人口はどんどん減っていくのに金の量はもの凄くいっぱい残るやろ？人は死ぬと・・・

真田 孔明：

どうしたいんですかね？それ

北野会長：

やはり2000年のオリンピック・・・

真田 孔明：

もっと円安をどんどんして

北野会長：

今度のオリンピックまでにド〜ンともっと1ドルで240円とかでもらえたらアメリカ人「おお、日本はいい国だ」ってみんな来るやろ？なるやろ？リングあたりで全然違ったものがでてきたらさ、孔明あたり喜んでさ「リングで日本に持って行ったらいくらになって、なんぼでも使えるぞ！」と、こういうような時代になるわけ

真田 孔明：

それは恐ろしいですね

北野会長：

あとは人が減るときにどうこれを見切るかということ

真田 孔明：

外国人の誘致みたいなものは進めていくのですかね？これね・・・兵隊としての・・・フィリピンとか、じゃなくて香港とかシンガポールは完全にそう割り切っているじゃないですか？地元の人たちが上にいて、外国人が下っ端ねっていう、そのお金のあれで・・・

北野会長：

日本はなぜか余り乗り気でないんだよね。本当に日本は何を考えておるかという、やはり最後にシンガポールと香港のように金持ちだけを誘致したいと・・・ガラが悪いやろ？そうなる・・・今からどんどん入れるとさ・・・

真田 孔明：

下っ端を入れちゃうとね・・・

北野会長：

治安も悪くなる、ガラも悪くなる

真田 孔明：

だから上の人だけでいいと・・・

北野会長：

要は金持ってさ・・・そんなの一発だよ例えば日本が法人税さ、香港とそこよりもっと安くすればさ

真田 孔明：

今、なんか、やりましたよね。税金が2億円以上・・・なんか・・・安くなるって、一定になるみたいなのか何か・・・

北野会長：

今は税金関係は富裕税みたいなものを取ったり何だりを考えているんじゃないの？

真田 孔明：

ちなみに法裕法師はお坊さんなのですよ。10歳から修行に入って・・・こっちではMM2Hでこっちに居るんですよ。何もしていないのですよ。普段 笑

北野会長：

なにねそれ・・・何もしない、お坊さんけ？

真田 孔明：

何もしないです、お墓が稼いでくれるみたいで・・・ちびちびと・・・霊園業で・・・



北野会長（妻）：

霊園業いいですね。これから

真田 孔明：

たまに帰ってる、モレックパイン4を買ってる

北野会長：

4を・・・何か4に移るの？今度

真田 孔明：

ああそうですね。ちょっと、どっちかなと思って。片方を貸したりしようかなって（笑）

北野会長：

それは当然やね

真田 孔明：

ちょっとどうやるかっていうのは・・・せっかくなので・・・でも、日本の法人に貸す方法は本当にすばらしいですね。計算すると

北野会長：

法人に貸す？

真田 孔明：

日本の人に貸す・・・会長がやられているハワイとかの・・・あの方法。普通に人に、現地の人に貸してもね、荒れるだけだし、そんな家賃をたくさんとれないし、どっちみち

北野会長：

金儲けにはいろいろやから

真田 孔明：

でも、お子様たちは、あまりマレーシアには来ないのですね。ハワイには行かれるけれどもよく・・・

北野会長（妻）：

この間、来ていたのがお姉ちゃんのほう、家族5人で

真田 孔明：

ここで？



北野会長（妻）：

ここで・・・3泊かそこらして・・・シンガポールがメインで、こっちはほんのちょっとって感じ

真田 孔明：

何にも無いですもんね

北野会長：

「あ、見てきた」ぐらいで終わり！

北野会長（妻）：

お風呂あっていいねぐらいで・・・

真田 孔明：

お風呂あっていいよね、ぐらいで・・・外に行くのは難易度が高いですもんね、こっちはね、案内がいなければ・・・シンガポール人でも怖がっていますもんね？実際はね・・・こっち、あそことか、ふらふらしたりするの・・・

北野会長：

みんなそう言うよね

北野会長（妻）：

歩いている人がいないからね

北野会長：

昔はさ、日本のやくざが腕から切られたという話やもんね・・・ジョホールバルに来たら・・・ロレックスをしてさ。やくざってやっぱりはったりやから・・・ロレックスをいっぱいして来とったやん、何か包丁の大きいようなやつでバサッとここから取られたっていう話やよ・・・ぶっそうなトコだよ、本当は・・・今はぶっそうな人が全部・・・

真田 孔明：

そうですね、10年前かに警官隊が一斉に全部入って、悪いところを全部、摘発したみたいで・・・そこからだんだんと改善したみたいですね。

北野会長（妻）：

まだちょっと・・・凄いところもあるからね・・・

真田 孔明：

そこもやっぱり、車のところより外に出られないですよね？怖くてね



北野会長：

本当？

真田 孔明：

出てます？結構

北野会長：

わしはずっと車がなかったとき、ここを歩いとったもん。そしたら、みんな、何か二人で歩いているから・・・何か誰も歩いていないよね、怖いところ

真田 孔明：

僕たちも最初、歩いていたんですけど、何かひったくりみたいなのがあるみたいなのですよ？
バイクでひゅっと来て・・・

北野会長：

俺はずっとそういうことをしよったんだけど、誰もひったくりはしないやろ・・・笑

真田 孔明：

笑 気配で・・・

北野会長：

初めて事務所に行ったときも、どこかで酒を飲んでから行ったよね？どこか居酒屋・・・

真田 孔明：

そうですね。肉屋・・・肉レストランですね。ステーキレストランです。

北野会長：

あれはどこからワインが出てきたの？あんなにいっぱい・・・

真田 孔明：

ワインはあのときはオフィスに置いておいて・・・それを・・・

北野会長：

どこかに寄ってからあれを飲んだわけ？

真田 孔明：

そうですね、スタッフが泊まっているところです。スタッフの・・・前に一軒家を借りていたの
で・・・今、彼はそこで寝泊りをしているのですよ。タオル1枚だけで・・・布団もないからって
言って、宿代節約で・・・ずっと床で 笑



北野会長：

実家はお寺さんのの？

法裕法師：

はい

北野会長：

今からたくさん死ぬ人だけが・・・さっきの図面をコピーしたらよく見てさ・・・死ぬ人だけが、
どんどん増えてきて誰でも入れるお墓というのがあるんやて・・・何ていう名前だったかね。もう
う大きな、みたいなのを建てて、これからはあれやよ

真田 孔明：

やっぱり低単価でも入れるようになっていいのいいのですか？それは

北野会長：

子孫がいなくなっていくから・・・

真田 孔明：

一人の人とかね、お墓あってもしょうがないですもんね。1回払って終わりぐらいな・・・

北野会長：

そういう時代に入るから、だから、さっきの図面はコピーをもらって頭の中に入れておかんと・・・このままの人口がさ、世界は70億人から80億人に向かうなんて思っておるやろ？ところが日本は1億2,000万人があっという間に4,000万人になるんやから・・・4,000万人だよ？だから、4件家が建っていたら3件がなくなるから・・・この間、NHKで特集・・・お寺が一番ひどい・・・檀家がどんどんいなくなる田舎では・・・息子は東京に行くと、そういう現象が起きるとるわけ。なかなかいいもんを注文しておるやないか（食事）

真田 孔明：

ほうれん草は肝臓の熱を抑えるので、ちょっと（笑）

北野会長：

俺ね、毎日じゃないけど、酒を飲むごとにほうれん草を・・・

真田 孔明：

ああ本能で・・・

北野会長：

ごまあえを・・・ホント？知らなかったわ。だから、何でこんなに俺ほうれん草とか野菜が好きなのかなと思って・・・



真田 孔明：

僕も肝硬変を治すときに毎日食っていたよね？ほうれん草をね。いっぱい・・・青菜と。あと、とりがらスープと青菜・・・それだけ食っていればね、肝臓は治ってくるのですよ。本当は。炭水化物がほしかったらそば、とりがらスープ、ほうれん草、鶏肉だけで生きていけるんですよ。お酒を飲む人は・・・飲めるタイプの人は・・・熱型なので・・・

北野会長：

俺の場合は特に・・・そのときにワインを3本やら飲んで、それで何か人生は間違っとるみたいに怒った。あの日がなかったら、きっと今度の話もなかったですよ。やはりちょっと飲み過ぎて・・・俺、大体、1,000兆の話でも、普通は絶対にしないもんね

真田 孔明：

今度はあれですか。ヨーロッパ行くのですか？イタリア

北野会長（妻）：

イタリア、地中海クルーズ

真田 孔明：

クルーズなのですか

北野会長：

頭もクルーズやけど・・・そんなばかなことを考えとる言う人は余りいないでしょ？スペイン、フランス、イタリアと・・・あと中に浮かんでいる島へ

真田 孔明：

スケジュールはいつぐらいに決まります？それって

北野会長：

5月9日出発の10日間ぐらいやから、12日間ぐらかな？

真田 孔明：

どこか何かお時間があるときに・・・寄ったときとかなんか・・・現地に行こうかなと思って

北野会長：

現地に来る？みんなで？

真田 孔明：

そうです。暇な人で・・・



北野会長（妻）：

そんな時間ないやろ？だって・・

真田 孔明：

日本から出発なのですか？それ・・ツアーで？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

日本からか・・

北野会長（妻）：

日本からバルセロナまで

北野会長：

5月休もうよ

真田 孔明：

わかりました。はい

北野会長：

みんな、バルセロナまでね、来て言うのも・・

真田 孔明：

今ね、結構ローコストキャリアを使うとね、意外に安いんですよね

北野会長：

親戚の人と行くもんで

北野会長（妻）：

そうなの、4人で行くの

北野会長：

親戚というもんか・・

真田 孔明：

日本に行って、ここに帰ってくるツアーなのですね？それね？



北野会長：

日本からそこへ行って、また日本に戻るツアーだから・・・

真田 孔明：

最初から最後まで全員一緒ですよな・・・じゃあ、だめですね

北野会長（妻）：

それが終わってからまたね

北野会長：

じゃあ、またハワイですかね・・・6月の・・・

北野会長：

6月は・・・

真田 孔明：

ハワイはいつぐらいに行かれるのですかね？お時間ありますか？

北野会長：

全然、毎月バケーションしかねえんやから俺の場合は・・・あとは何もねえや・・・労働はしないから・・・経営者が労働するとおかしくなるやろ、それ何（食事）？

真田 孔明：

ラーメンです

北野会長：

魚が入っとる

真田 孔明：

魚が入っているラーメンなんですよ・・・これ

北野会長：

めずらしいな

真田 孔明：

裏メニューなのですよな、表にないのです

北野会長：

本当・・・それ何て言う魚？



真田 孔明：

何ですかね・・・これね？

北野会長（妻）：

サンマ

真田 孔明：

サンマが入っているのですね、すごい裏メニュー

北野会長：

あんた、なかなか派手なものを食べるね、サンマラーメン、俺初めて見たわ！

真田 孔明：

ハワイに行かれるのは後半ですか？

北野会長：

だからメンバーの日程に合わせてもいいよ俺は・・・ハワイに行ったらゆっくりと・・・今度はまあまあ2週間ぐらいで帰ろうかな

真田 孔明：

2週間ぐらい・・・6月の中旬から下旬みたいな・・・

北野会長：

中旬から・・・あっそれいいね！まずは日程調整

真田 孔明：

4月はどこかに行かれるのですか？

北野会長（妻）：

4月は上海でどうかなと思って

真田 孔明：

いいですね。上海

北野会長：

上海。メンバーの人もひどいよね？ハワイに行ったり・・・



真田 孔明：

でもきっかけになると思うのですよね、行くね。重い腰を上げて・・・でも最初から旅を毎月行ける人って話しているので、結構みんな、稼いでいる人が多いのですよ。時間の自由と稼いでいる人、もともと・・・だからいいですよ逆に

北野会長（妻）：

じゃあ出かけられるわけだ

真田 孔明：

信頼できる人が集まるので、そうすると・・・みんな、身元を全部抑えて契約書も全部とっている・・・秘密保持契約書と面接一人一人して・・・

北野会長：

だんだんバーが高くなるとるから、だから悪い人も寄って来るかもしれんし・・・

真田 孔明：

ああ・・・一人一人ちゃんと見ているので・・・審査で・・・

北野会長：

真田孔明審査で落としたって、あとで暴力団に叱られる・・・笑 いやいやわからんぞ 笑

真田 孔明：

ここは昼もやっているんだっけ？やっていないんですか。？夜だけですか・・・もったいないですよ

北野会長：

店舗を借りてだから、そこら辺が金もうけじゃねえ・・・昼は自分はいなくてもいいんやから、誰かに適当にやらせておけばいい。金もうけだからやる人とプライドを守る人、全然、別なわけなの・・・自分しか鳥が焼けないとか言ってみ栄を張ったりさ・・・バカにしたことを思っておるわけや・・・そんなもの、この若い者のほうがよっぽどうまいことやるわ！当たり前やそんなもん！

真田 孔明：

確かに、あの日本人の人が全部やっていそうな感じですね、メインで・・・確かに・・・

北野会長：

だから経営者と労働者がはっきり分岐できない人って多いんやで

真田 孔明：

労働者も誰もがができるようなやつをやっていくと



北野会長：

そうそう。だからね、どこの国に行ってもさ、日本人っていう人は頑固やから若い人を育てんわけよ

真田 孔明：

確かに・・・現地の人が育てないですよ。使わないですよ

北野会長：

技を教えんが！こんなもんね、技もへちまも・・・そりゃあ・・・多少はあるかもしれんけども・・・

北野会長：

法裕法師:は今ここで何をやっているの？

真田 孔明：

いや、何もやっていない 笑

北野会長：

何もやっていないや？

真田 孔明：

本当に何もやっていないです・・・すごいんですよ。ある意味すごいですね。この現代社会において

北野会長：

何もしたらんじゃ、そこで寝泊りしとるだけかい？まさか、座禅を組んで1日中おるとかさ・・・

真田 孔明：

何しているの？1日、座禅を組んでいるの？前、何か写経会をしていたよね。何か・・・
Facebookで告知して・・・僕がいないときに

北野会長：

ネットで布教をすとかさ・・・やっているの？やっぱり孔明さんに習ってさ、これからやっぱり仏教を信じる・・・

北野会長（妻）：

動画でながす・・・ねえ



真田 孔明：

お経を 笑

北野会長（妻）：

そうしたらそれでみんな毎日・・・

北野会長：

そうやる？俺と会うと、すぐに金になる話しかせんのやから（笑）いや、いや、本当

真田 孔明：

そして仏像を売ると

北野会長：

タイかどこかに行ったら仏像がいっぱい売っておるやろ？あれ安いのがばっと仕入れて売
がやて・・・私のお経は毎日ネットで唱えると・・・だから、仏像の販売はいくらでやっていま
す、そしたらお前、家賃も払えてやぞ、生活も豊かになってやぞ、そのうち女も見つかる・・・

北野会長（妻）：

今若い子、結構、阿修羅の像とかそういうのね、すごく興味があるよね。そうなのよ。わざわざ
仏像をちゃんとお部屋に置いて、それが癒しになるんだって・・・そこで彼のお経が流れてく
れば・・・ 笑

真田 孔明：

お経をちゃんとね、唱えられるのですよ。オフィスをオープンのときにちゃんと唱えてもらっ
たので・・・

北野会長：

どっちなの？お東、お西？仏教じゃない・・・仏教やる？

北野会長（妻）：

何教なの？

真田 孔明：

空海のほうの・・・弘法大師の

北野会長（妻）：

弘法大師のほう、ありがたいじゃないですか



北野会長：

何ていうお経の？

法裕法師：

般若心経

北野会長：

般若心経や！聞かれて、聞かれて。俺、般若心経は唱えられるわ 笑 知らねえ？般若心経に隠された経済学というのは・・・知らないの？本当？わしは経済学者やもん・・・そうやる？何でも知っとるよ。今ね、そのディスクを・・・ディスクがもしあれば、あれを布教したほうが絶対にいい。般若心経という本があるがやて・・・般若心経のこの何文字はこういう解釈ができる。生涯に当てはめると・・・これ全部あるが。これね、ディスクで聞いたことあるがやて、持っていたのだけれども、友達が貸してくれ言うて借りて行った・・・

北野会長：

ちゃんとワープロ打てるんやろうな？

真田 孔明：

一応、文章は書いていますよ。最近

北野会長：

本当、お前、だから、孔明のところにおったゆう実績をどこかでお父さんとかお母さんにさ・・・結婚していないんやろ？やっぱ結婚していなかったらさ、父、母に・・・

真田 孔明：

でも、さっき女をつくれるよとかって速攻見抜いてましたよね、何も言っていないのに（笑）独身とも彼女がいらないとも言っていないのに、一発で・・・

北野会長：

でもね、女も口説けん坊主は何もできんやろがよ。だから、まずは、女を口説く練習から毎日すると・・・

北野会長（妻）：

お坊さんが女を口説かんでどうするの？京都でもお坊さんもう遊びまくって・・・

北野会長：

そうやけど・・・この坊さんは布団1枚で寝とるらしいから



真田 孔明：

偉いお坊さんじゃないですか、京都の？

北野会長：

偉いお坊さん、このお坊さんとはまた別なんやて

北野会長：

奥さんも孔明のお金は、きちんと管理してやらないと、彼はすぐ、うしながすタイプやから。

「うしながす」っていうのは無くすタイプってこと

孔明（妻）：

全く私も詳細がわからなくて

北野会長：

そうやろう・・・このね・・・

真田 孔明：

毎月ちゃんと、お布施を・・・決まったお布施を・・・

北野会長：

でもね、恐らく俺が思うのに、あんたの欠点はそこなんやと思う。はっきり言うと・・・自分で金の管理をしようと思うやろ？しとるやろ？そうすると今みたい経済状態が続くわけや。とんとんとんって、例えばマンション3つ買った・・・どこかの男にまたポンとだまされて、大体、またパ〜んな訳や・・・花火のように・・・こっちの月賦の払う・・・だから必死には働くよ。だから、必死ってこの前も解読したけど、「必ず死ぬ」って考えたら・・・そうやろ？

真田 孔明：

確かにノリでぼんぼんぼん投資しちゃってね、騙されてポーンって確かに・・・

北野会長（妻）：

だからそこを奥さんがそういうときにちょっと相談して「そこまでしなくてもいいんじゃないの？」とか言って、ちょっと止めるとか、そういうことが大事なのよ

真田 孔明：

それとね、孔明はね、失礼やけど・・・大分酔っ払ってきたけどね。もう少し脳が回転してる・・・今もし彼女に会計を与えたら、あんたは今の10倍幸せになれる。何でっかっていうと金を出すときに必ず相談せんといかんやろ？「俺はこう思うんやけど、ここへ金を流そうかな？」みたいなことを言うやん？今まで自分勝手にやっているわけ、ヘタな鉄砲でも数撃ち当たるみたくな、なかなかね。それがこのままやとね、結局は最終的に与沢とかさ、ネットで成功した言うても・・・いや、昨日Fさんがさ、孔明はすごいブロガー・・・



北野会長（妻）：

ああ、日本一に売れていたとか

北野会長：

お前、ブログをやっていたる？そういう風に言ってたぞ

真田 孔明：

Fさんね、2004年ぐらいから知っているのですよ、僕のこと

北野会長：

あの人はすごい日本のブロガーやいうから、ブローカーには見えんけど・・・笑 でも、やはり才能はあるのやけど脇が甘いから・・・脇・・・お前、気功ばかりこうやって絞っとるけど、金の脇はこうやって開けちゃあ、これはあかんで、これね7割ほど渡しておけばねえ、必ず1回相談するから失敗ないやて

北野会長（妻）：

常に相談、常にやることは私に話をする「それはよくないんじゃない？」とか「あ、いいんじゃない」とか

北野会長：

奥様も感覚でわかつちゃう人ですね。パーンと直感で・・・四柱推命を見させてもらいましたけど・・・パーンって感覚で・・・勉強をしなくても

北野会長（妻）：

何となくね

真田 孔明：

お二人ともすごいのですよ！直感で全部わかつちゃうから・・・勉強しないで・・・勉強をすると弱っちゃうんですそれ・・・不思議ですよ、これ

北野会長：

勉強は、勉強はしたことないから

北野会長：

すごいですよね。本当に・・・本当なんだなと思って歴史は・・・

北野会長：

いや、本当に勉強は全くしたことがないね。若いときから本当に学者みたいなタイプやったんだけど（笑）タイプやったんだけど・・・勉強はしたことないやて・・・



真田 孔明：

また、土日、どっか1日こっちに来ますかね？ここに来ます？

北野会長（妻）：

日曜日に来たらいいんじゃない？土曜日は別の人が来るから。

真田 孔明：

土曜日に別のところで

北野会長（妻）：

会合でないときのほうがいいでしょ・・・私たち

北野会長（妻）：

土曜日にね、お友達が来るのよ、お友達夫婦が・・・夜5時ぐらいにシンガポールに着くわけ。そしたら、ここで近いからここでご飯を食べようかなと思っているのですけれども、3人で・・・

真田 孔明：

わかりました

北野会長（妻）：

あなたたちは日曜日ここ使えばいい

真田 孔明：

日曜日にここで。では土曜日はまた韓国料理屋とかでいですかね？韓国料理レストラン

北野会長（妻）：

あなたたちの会話をしているのよ

真田 孔明：

今回はいっぱいいて12人

北野会長（妻）：

土曜日、韓国、日曜日、ここ

真田 孔明：

はい、わかりました

北野会長：

韓国とここ・・・あっ皆はどこに泊まるの



真田 孔明：

皆さんはKSLっていった下にショッピングモールもあって自由に行けて・・・そこに泊まっていますよ

北野会長：

KSL、中華料理も入れたほうがいいのじゃないのか？

真田 孔明：

中華料理を入れますか？じゃあ・・・初日は中華料理にしますか

北野会長（妻）：

あそこの北京楼に行けば？

北野会長：

北京楼でタクシーで・・・何台かで・・・車がロードタックスのあれが切れちゃってて、いつの間にか・・・

北野会長：

いやいや、だから、タクシーでいけばいい、北京楼

真田 孔明：

マイタクシーで・・・

北野会長：

マイタクシーで？

真田 孔明：

タクシーってすぐに呼べるのですよ・・・アプリで・・・

北野会長：

俺もさ、ごめん・・・何回かしゃべったけど、自分がもう何をしゃべっているか全然覚えてらんの

真田 孔明：

すばらしいってみんな、感動して帰って行きますよ、本当に

北野会長（妻）：

ほんと？ちょっとわけわからないんじゃないの？



真田 孔明：

一般人の人からすると見て来なかった世界なので・・・もう僕の幼なじみのサッチェルって言って小、中の彼は何回聞いても、神として崇めていますよ

北野会長：

これわかるわ・・・はっきりわからんところが一番いいところなんや・・・ものはね、はっきり言うとおももしろくないから、俺の場合はこの話しからこっちの話しに飛んだり、あっちの結構、飛ぶやろ？

真田 孔明：

天才的な発想でポンポンっと

北野会長：

俺はもう酒を飲むとどんどんフロッピーディスクが回るから、どこに飛ぶかはわからんのやて。なので、俺もこれで大丈夫なのか。いやいや、あんたサイドが大丈夫？

真田 孔明：

やばい内容は全部消しているので大丈夫です。全部スタッフがチェックを入れているので・・・ちゃんと・・・やばい内容は・・・来た人だけはオンタイムで聞けますけれども、来ていない人は聞けないと

真田 孔明：

ハワイとかちょっと人数がふえたら二つの班に分かれて、土曜日だけ、日曜日だけみたいな形にしましょう

北野会長：

いやいや俺ね、孔明ごめんね・・・俺の話というのはさ、ストーリーって余りねえんだけど。好きなことを言うタイプやから・・・そうしたら前の日の言うたことを次の日に言いいうても、酒の飲み加減で全然違ごうた話に変わっていくことが多いやて

真田 孔明：

逆に出していい音声は聞いているので、みんなですね、基礎は固まっているのですよ、だから逆にいいと思う。質問しろっていうのをちゃんとやっているのですよね・・・ちゃんと質問しろと

北野会長：

でも、余り質問もないよね？質問あった？



真田 孔明：

また、幼稚園の人いるじゃないですか？保育園のオーナーの人、もう二人社長を雇ってたと・・・

北野会長：

本当！

北野会長：

まあ命があったら死にはせん。俺はだから会社も人間の生命も同じやと思うんやで・・・生きとりゃさ、いろんなことがあるんやて、会社でもさ生かしておりゃあ・・・俺なんか会社すごいよ43年も、もう生かしておるんやから

真田 孔明：

すごいですよね？それ

北野会長：

近県で俺ぐらいやて

真田 孔明：

すごいですよね、確率論的に無理ですよ・・・10年でやっぱり100件のうち1件しか残らないんですよ？やっぱりね・・・確率なので・・・

北野会長：

孔明、ここが凄い・・・うちの場合は何と残った会社が全部、黒字なんやから

真田 孔明：

それはもう融資がいっぱい・・・銀行が・・・

北野会長：

ここが、わかるか？

真田 孔明：

信用が違うんですよ・・・

北野会長（妻）：

そう、信用が違うからね

北野会長：

本当はね、本当はそこら辺をよく書いてほしい



真田 孔明：

生き残ることが重要だと

北野会長：

まだ命があったら死なんと・・・会社も不渡りを出さなきゃ赤字は続くと・・・お寺も一緒やぞ、お寺はもっと強い。そして、檀家をふやしていく時代じゃねえんやから

北野会長（妻）：

そうそう・・・檀家はふえない、檀家は減る一方

北野会長：

でもね、みんなの墓・・・お骨を預かるやつ・・・何て言うんやったかな。知っとるやろ？みんなのお骨を預ける、お堂やったかな？納骨堂！あの商売はもう最高や！あれと・・・だから大きい声で言えないけど、やっぱ各会社から金を寄付・・・金を寄付してもらった人にはちゃんとお前、仏像を売らにゃあだめだぞ！わかった？その仏像を売るわけや・・・仏像を売るが・・・日本の仏像でもええ

北野会長：

久しぶりに会うたやん（法裕法師:）久しぶりに会ったやろ？ずっとここにいるの？

法裕法師：

この間はインドネシアのほうにちょっと行っていたので・・・

北野会長：

本当？頭ぱらぱらやの？いくつやて？

法裕法師：

35になります

北野会長：

35？35でぱらぱらか？お前酒でも飲めや。ちゃんと般若心経を読める？般若心経の教え、今度、俺ね日経メディカルか何かで、誰か般若心経の教えをやっとったん。俺も何十回か聞いたんやけど・・・あれはでもすごいのがあったよ、孔明に探させるから、あれを唱えにゃあかんがいて、やはり自分のお経と仏像と般若心経の教えをネットで流すやね、孔明はものを流すのは得意やから・・・

北野会長：

俺も酔っ払ったか？



北野会長（妻）：

似合わない

北野会長：

本当、よく言われるのですよ。私もお医者さんにさ「先生、俺、花粉症になった様な感じやから・・・」言ったら「社長、花粉症、似合わないからやめておいて・・・」「先生、その似合わないのちょっと失礼でないかと」

真田 孔明：

花粉症にならないですよ

北野会長（妻）：

ならない。ならない、似合わない

真田 孔明：

ならないですよ・・・回っていると、腎臓が回っている人はならないのですよ、僕はすぐになっちゃうんですよ。腎臓が弱いから

真田 孔明：

日本に帰っているときに・・・でも対処法があって、この時期に帰るとすごいじゃないですか。腎臓の後ろにホッカイロを張るのですよ。それだけで相当改善します。うちの弟もね、それで相当改善したので、僕の・・・

北野会長（妻）：

ピタッと張るだけ？

真田 孔明：

そうですね。ここに・・・できれば腹巻・・・

北野会長：

腹巻！

真田 孔明：

腎臓が回ると鼻の滞りがなくなるんですよ

北野会長：

ほ～、教えておかにゃあかん。

北野会長（妻）：

じゃあ、子供に教えておかなきゃ、寒がりだから



北野会長：

俺も最近ね、家ではほとんど・・・こたつわかるやろ？こたつに入って全然動かないの。1日中・・・本当に・・・ほとんど動かん

真田 孔明：

気を温存しているのですか？

北野会長：

気のが・・・iPadが・・・相場が始まるやろ 笑 動けんのやて！結構、内気内向的やから、iPadが目の前にあると全部目を通おさんといかんやろ？iPad中毒よね、これね・・・こたつが何か友達なわけだ。この間も友達と晴れた日にゴルフに行ったら一番俺が玉が飛んで、スコアが一番いいの、「いや社長がそんなにね、こたつに入っとっと思えん」と皆んない。俺は、ほら・・・こたつとボタン押すのが仕事やから・・・経済はさ・・・孔明にも言うとかけど買うのは誰でも買える・・・でも、売るといのはなかなか難しい、そうやろ？これはまず、一つわかることと、あとは何がかね？値段が落ちていくとこ、さっきの事例も人口が落ちていくところの話なのよ。これっていうのはやはり難しいんやて・・・下り坂の人生っていうのは難しい・・・だから、俺はこの下りに勝てるような・・・メンバーだけでも下りに勝てるメンバーをつくらんとあかんでねえかなと・・・いいこと言うやろ？今日も！ 笑 酒をたくさん飲ませると結構いいこというんやて 笑 酒を飲まんとあかんがやな

真田 孔明：

なるほど・・・

北野会長：

ポイントというのは、だから酒の力を借りないと気が弱いからさ。ドラゴンボール知っているやろ？こんなんやったけど・・・酒を飲むとね膨らむってね、どーっていうやつな。これと同じなんや。酒が言っているのか、はっきりわからないんやで、自分でも・・・いつも話をしているゆうても酒、酒を飲んでの話やから、俺にしたら・・・自分が酔っ払ったら、ああ、もう帰るわ、みたいに帰るから 笑 で話が飛ぶから難しいと思うやて・・・聞くほうは・・・でも、この間、Dと電話で1回話したことがあったら、Dはメンバーが俺の飛ぶ話しでも結構わかるちゅう言われて・・・

真田 孔明：

わかるメンバーですね。みんな・・・

北野会長：

すごい、だから・・・俺の飛んだ話がわかるっていうのはかなり頭のいいやつが多いよな



真田 孔明：

逆に頭のいい人っていうのは気づかない部分が多いのです、世の中って・・・真面目に勉強をしちゃった人たちがかりなので・・・そこのポンっていうところにあるじゃないですか？答えが・・・

北野会長：

そやな、上手い事言うなやっぱ・・・そうそうそうパンとこう変えるから・・・

真田 孔明：

えー、みたいな、人生無駄だったみたいな・・・最初は無駄を送った人生に後悔するのが嫌なので見ないようにするのですよね 笑

北野会長：

そうなのかね？俺だからこの間ふとさ、思っけ言うわけよ。「あんた、どんな話をしているの」って言うから、どんな話して・・・酔ってしまったら何を言うたか、寝てまうやろ？うちに帰ったら・・・全然覚えてらんのやて。だから、こうやって2回、3回とか話をしたら、俺は一体、何の話をしたか自分が覚えていないからさ・・・だから、でも、俺は感じたことしか言わんから・・・あと、俺は実践タイプやからどういうの？夢とかさ、ドリームじゃねえやて・・・脳で考えて、図面を描く設計士でもない・・・だから、実践のみの話しやから、やっぱ実践していない人には衝撃的な嫌がらせというもののかさ・・・がんとこう行くタイプなんやて・・・いつもね、株をやっているけど毎日、そういうことを思っけは自分では生きとるんやて

真田 孔明：

うん

北野会長：

ワインだけでも酔わんいうことはないよな・・・日本酒でも酔うんだから同じや・・・さっきは禁酒をしとった話はどこに行ったのこれ・・・笑 酒をやめようと思うとるなんてね・・・

真田 孔明：

何か僕のメルマガは学歴が高い人が来るのですよ、すごい・・・国大生とか・・・その人たちにとっけは会長の話しとか全部、盲点なので 笑

北野会長（妻）：

今まで聞いたことがない

北野会長：

聞いたことがない、発想もしたこともない・・・だから、みんな最初はフリーズするのですよ。え、なんで、どうしてっていう



北野会長（妻）：

やはり住む世界が違うのよ、考えていることが違うのよ

真田 孔明：

そこに回答があるのでよね、いつも・・

北野会長：

いいやろ、これはね、点と点を普通の人は結ぶことはできるわけ、普通の人は点と点は見えるわけ・・俺はもう一つの点を見つけるのが早い

北野会長（妻）：

いいこと聞いたと思って？

真田 孔明：

きょう連れてきて正解ですね

法裕法師：

初めて聞きました、宗教法人の活用法について・・

北野会長：

そうやろ？それが一番最大限、わかった？

真田 孔明：

結構、実家もそれ、だまされたりとかしている、昔ね、いろいろ・・

法裕法師：

そういうのはありましたね。

北野会長：

あっ、あのね、だまされるから人間は強くなるが、わかった？だから、お前が人をだませとは言わんよ・・でも、あなたが金持ちを相手にすれば簡単、みんなそこへ、あんたのところへみんな来るがやから・・納骨堂を一つ作って・・違うよ、全然違う・・こんなものネットで集めるんやから・・納骨堂を・・その宗教関係ないやつ、うちは、お東、お西、さっき何やって言ったがや？般若心経！関係ないやと・・うちは全てを受け入れると、神のような心やと・・毎日ネットで・・なんまんだだか知らんよ？本当は知らんが、般若心経の最初のくだりはなんやった？最初と始まりは？

法裕法師：

（般若心境唱える）



北野会長：

はらみかやる？そうやる？うちの嫁さんも昔、女優やったからなんでも知っとる、人間っていうのはだからそんなもん、だから新しい息吹をあえば人間はぱっと変わるわけよ、変わるが

北野会長（妻）：

お寺さんもやっぱり考えていかないとだめだよな

北野会長：

寺が一番考えていかんと！

北野会長（妻）：

一番考えていかないと

北野会長：

あのね、日本で一番・・・孔明ね、潰れておるのはどこが一番かっていうと寺なの・・・寺が一番潰れておる・・・田舎の寺ほど潰れている、檀家がなくなってきたから・・・

北野会長（妻）：

私たちぐらいからもう余りお寺に行かないから

真田 孔明：

行かないですよ・・・

北野会長（妻）：

行かない、何かあっても行かない・・・

北野会長：

もう一つ、お寺で成功する方法を教えてやるから、これは敷地がでかい、まずは・・・寺やから・・・まあまあ、あるやろう？敷地内に有料老人ホームをつくるの

法裕法師：

作れるんですか？

北野会長：

いやいや檀家の人はどんどん来られるって・・・頭、悪いんでない？

真田 孔明：

それはすごい



法裕法師：

老人ホーム・・・

北野会長：

老人・・・当たり前やけん！敷地がでかいんだから、敷地を利用せんなんわ？お前、死ぬまでお前のお経でも聞いてやぞ・・・はんにゃあはらあみ、何とかかんとかわからんけど・・・笑

北野会長（妻）：

老人ホームのデイサービスにお坊さんがそこへ行ってお経をあげて入っている人たちがお参りをしているわけ・・・、そうよ、だから、お寺に行かないでデイサービスにそういう仏さんとかを置いて、そこにお坊さんが来てお参りしているのね

真田 孔明：

そういえば今、老人ホームもお持ちなのですよ？

北野会長：

うちはデイサービス、老人ホーム。そこが主産業やから・・・

北野会長（妻）：

そうなの、今一番いいのよ

北野会長：

だからさっきの図面ひいた・・・どんだんどんどん人が死ぬんやから、死ぬ人はね老人ホームが必要だから

北野会長（妻）：

最後には納骨堂も必要なの

北野会長：

納骨堂が必要、だからそれは最終的な話しやから、そわかるか？　バーンと・・・

真田 孔明：

別にちゃんと由緒正しい系列のあれでしょ？母体でしょ？

法裕法師：

一応、ちゃんと真言宗という・・・

真田 孔明：

ちゃんとしたね、10歳から入っているぐらいですからね



北野会長：

今はだから修行をしておるわけやる？

真田 孔明：

見聞を広げて・・・

北野会長（妻）：

見聞を広げているわけ？

真田 孔明：

広げてるんでしょ？空海のように、かつての・・・

北野会長：

空海も昔、俺みたいな男に会ったが！

真田 孔明：

多分そうだ 笑

北野会長：

で、パンとわかったわけよ

真田 孔明：

わかったんですよ、多分・・・天皇陛下に取り入る方法！ 笑

北野会長：

そうそう、わかった？基本は全ての経済はそうなの

真田 孔明：

やはり鷹のほうに・・・

北野会長：

そう、きょうも説明しとったんやけど、バッチをつけておる人は政策をつくるのね、我々庶民はテーブルから下の人は対策をつくるの、政策ができたらどうやって対処しようかいうて、対策だけを考えるの。これはだから上と下の違いなんやて・・・お前はだから関係ねえ。今日俺が言うたことをこうやって実行すればもう三蔵法師を上回るわけ・・・いや、いや、本当に・・・そうやる？もう、金は入り放題や！仏像は売り放題やから・・・

真田 孔明：

香港の会社を使ってください、香港の・・・



北野会長：

そういう感謝の気持ちを形にあらわらずと金になるわけよ。孔明さんには昔お世話になったと・・・昔はお世話になったあの人はエメロンシャンプーやったけど、今じゃあ、キャッシュマネーやぞ！マネー、マネーオンリーや。わかった？これがだから、三蔵法師が目覚める日やで・・・

真田 孔明：

兄弟達の中で一番金に目覚めるよ

法裕法師：

初めて聞くことばかりで・・・

北野会長：

そうやる？

真田 孔明：

偏財格だから大丈夫だよ

北野会長：

俺ともう1時間しゃべってみな、まだ脳が割れるほど皆んな悩む・・・俺はだから、ほとんどはワイン3本飲んだら1,000兆の話をしたほどやから・・・本当に俺言ったか？一番要の話しやからあれは要の話しやから・・・俺はワインをどんだけ酌をしたか知らんのやけどそれで酔っ払ったから・・・孔明が質問するわけ・・・借金はどうのこうのから・・・お前ね、借金、1,000兆の借金をすれば、金なんて降っているのと同じやと・・・借金できんやつが四の五の言うてさ、貧乏をこいているだけ・・・あとはさ、ものを実行するか？わかった？今、聞いた？実行するか聞いただけか・・・これや。早く実家へ帰って、俺が言うたことをせえ！タイから仏像を仕入れて毎日ネットで般若心経を流すと・・・これだけでお前、女は山ほど来るぞ！女は食べ放題、金も振り放題、ホントやちゅうの。そこがまだわからんやろう？

法裕法師：

実感が・・・

北野会長：

だから、実感が無いんじゃなくて、実行せんやつには実感は永遠に伴わないということよ、わかる？あれしたい、これしたい、俺は有名大学・・・俺は東大だ・・・俺は京大だよってみんな言うとりわ、みんな・・・でも、誰もそれを実行できんが・・・実行犯じゃねえじゃん。頭の中で空海や・・・空海わかるやろ。頭の中は空海やから、

真田 孔明：

笑



北野会長：

ただ、覚えておるだけ・・・だから空海はあかんわけよ、俺から言うと・・・だから何もならん、それは一つの実行をやって初めて結果というのは出てくるわけ。みんなさ頭のいい人やから、実行せんとしてさ、頭でだけ考えるわけよ。

真田 孔明：

本当そうですね

北野会長：

みんな思っておらん。俺から言えば馬鹿どもは何を思っているかという、俺はなんだ俺は明治だよ、俺は慶応だよ、何を言っているんだ、俺は東大を出たんだよ、思っておるわ・・・でずっと一生サラリーマンをする#が・・・残った貯金はせいぜい2～3000万、残ればいいほう・・・お前、きょうの仏像3,000万円、1回売って3,000万円・・・10個売れば3億円や・・・金なんてそういう具合にもうけるのが金っていう。金は発想から生まれる・・・お前、仮にも師匠みたいなものやぞ。この金もうけの・・・そうやる。そんなもんね、一生あちこち回ってっても、きょうの一言は絶対に聞けない

法裕法師：

はい

北野会長：

経済は今、携帯電話1個とアメリカのカード、それからHSBCのアジアカード、ヨーロッパのカード、それと日本のVISAカードこの4枚さえ持てば生きていける。金さえ置いておけば。携帯電話も必要やけど・・・寂しくなったら「寂しくないかい？」みたいなもんでさ。寂しくなったら困るやろよ？だから携帯電話は必要。あとはカード4枚さえ持っておけば大丈夫・・・見せてやろう実態を・・・これは部屋のカード、こっちはVISAカード、これだけで人生は生きられる。でも、ハワイに行ったらやはりハワイアンバンクとかさ、アメックスとかさ。4枚ほどカードがあればいいわけよ。でも寂しいやろ？携帯電話がなかったら・・・しゃべれないから・・・だから、携帯電話とカード4枚で生き残れるわけよ

真田 孔明：

それをちゃんと用意しておけばいいですね？

北野会長：

でも、孔明は金は自分で持たんほうがいいよ。お前・・・金を持つと失敗するタイプだから

真田 孔明：

本当にそう思います



北野会長：

そうやる？

真田 孔明：

はい、あると使っちゃうタイプですね。投資したい・・・うずうずしてくるので・・・これね、やはり持ちっちょいけないんですよ・・・確かに・・・

北野会長（妻）：

じゃあ、やっぱり奥さんに・・・

真田 孔明：

そうですね

北野会長：

俺みたいに100億円ほど持ったら、そんなに持っても持たんでも同じぐらいの単位やから、あんま金は持てねえけど・・・

真田 孔明：

やはり内臓の強さが影響するという、いくら持てるか？だとか・・・弱いとやはりみずから手離す行動に走るのですよ、人間ってやっぱり・・・

北野会長：

体が弱いから・・・笑

北野会長（妻）：

弱いから？そうなってくるわけ？

北野会長：

おもしろい

真田 孔明：

これやっぱりね、鑑定士をやっていて、いろいろな人を観ていると本当にそうなのですよ。持てる人は腎臓が必ず強いんですよ、花粉症のある人はだから持てないんですね、余り・・・笑
1億円ぐらいは持てるかもしれないですけども、1億円、2億円ぐらいは。何十億円は無理ですね

北野会長：

だから、俺はこの間もハワイで言ったね？1億2,000万まで自分で持てたと、あとは奥さんに預けるが・・・10年間ほっておけ！あとは銘柄さえ選んでおりゃ、1億2,000万円が10億円ぐらい



になるがやて。12億円になったらあとは24%で回せば100億円になるが？簡単になるもんやから・・・銭が余っとる俺がいうのやから・・・

真田 孔明：

はい

北野会長：

あのね、仕事をするやろ？あなた坊さんや・・・何妙法蓮華とかさ、どんだけ言うても安いところは1,000円か2,000円、高いところでも1万円程じゃ・・・そんなね、ことをやるんやったら、僕の講義でも聞いて株でも買っといたほうがよっぽど儲かる、日々暇やからお参りでもせんな。お参りもせんなならん、いい後家さんでももってやぞ・・・

真田 孔明：

後家はん 笑

北野会長（妻）：

まだ若いのにね、そこまで飛ぶ？

北野会長：

後家さんってわかる？わからん？

真田 孔明：

でも、後家さん好きでしょ？多分・・・後家さん、好きだと思うよ

法裕法師：

後家さん？

真田 孔明：

ご主人のお亡くなりになった方

北野会長（妻）：

独り身の方、結婚したあと・・・

北野会長：

いい単語を知っておるやろ

真田 孔明：

確かにパーンときてるからね、直感で・・・どっちかと言うと・・・



北野会長（妻）：

はい、言ってるよ

法裕法師：

すごいですね、全部当たっています

北野会長：

俺の場合は天才的なこの勘があるのやから・・・

真田 孔明：

パーンとね、これはすごいですね、四柱推命いらないですね・・・ポーンと・・・僕たち凡人はみないといけないですよ、これ・・・

真田 孔明：

法裕法師:は大丈夫なんだっけ？お酒

北野会長：

お寺さんやもん、何でも大丈夫、「全ての煩惱を私が受け止める」と・・・これがやはり、それはね、仏教の日本の宗教やろうよ、全ての人の心は受け入れよと・・・

北野会長（妻）：

会長のおじさんがお坊さんなのよ、本当に・・・本当にそうなの、おじいさんの兄弟の方がお寺さんで、すごい説教も上手でいいお坊さんなの

真田 孔明：

繁盛している

北野会長（妻）：

そうそう、でも・・・もう今はだいぶお歳を・・・

北野会長：

95・・・6か・・・

北野会長（妻）：

ずっと良いお坊さんで・・・そのお坊さんの言うことは聞くのよね？

北野会長：

俺やろ



北野会長（妻）：

そうそう

北野会長：

爺さんの兄弟やもんで・・・結構聞かやて・・・お寺さんが来るやて「俺こんなことをしたいな」みたいなことをいうたら・・・「お前それはやめておけ」って、バンって言うわけ・・・俺は真面目やから聞くね

北野会長（妻）：

それが正解だった・・・

北野会長：

それが正解なの

真田 孔明：

見る目があるんですね

北野会長（妻）：

そうそう

北野会長：

また俺に言うがやじゃ、お前この土地を買うのはやめておけとかさ、ぱっと俺がそこを丁度買おうかなと思うとる日に来るがやけ、それで来て・・・

北野会長（妻）：

相談ね

北野会長：

一応相談するがやて、パーンって言う「やめておけ」みたいなことを言う、俺も結構気が弱いもんで、やっぱりすぐにやめるわけ

北野会長（妻）：

やめてよかったよね

北野会長：

やめてよかった。そういうことが多い・・・だから結構、彼がお寺さんいうから結構、愛着があるがやて・・・愛着、だから結構いい話した

真田 孔明：

すごい話しですね・・・



北野会長：

これはね、孔明お前は、いい鳥を持っているのやから、山鳥みたいなものやぞ？これ・・・使い
ようによっては大変なものや、俺もね、おじさんのところを使おうかなと思っているけど、俺
も結構やんちゃをやってきとっから、おじさんにまで迷惑をかけたらあかんかと、ホント・・・

北野会長：

俺は実行犯やから、すごい能力がある。昔孔明は「社長、どれぐらい借金したいですか」と聞
いた、俺言うたやん・・・1,000兆円ほどやと・・・お前考えてみいよ？1,000兆円借金ができる
ということは日本の国家と同じ力があるわけよ？1,000兆円・・・これはさ、例えばわかりやすく
1,000万円でもいいや、1,000億円でもいいや、これを人に金を貸しているだけでもうかる。
確実にとれば・・・利息をとれば儲かる。それが銀行やろうがよ？銀行は日本政府の金を0.19か
0.2程で借りとんや・・・政策銀行もコンマ2で借りたんやけど、それを我々庶民はコンマ6から
コンマ8ぐらいで借りとる。0.よ。1%の金利なんてうちの会社ではもうないな。俺はだから24
%の投資をしたいなと思って、24引く1のゲームをしとるんや、いつも。仕事はする必要はな
いわけよ・・・前もだから信者をどんどんふやす、仏像をどんどん売る、納骨堂をつくる。みん
な、はいはいはいはいと・・・これでいいわけよ！わかる？

